

## 寺子屋ふぁみりあ

年度末アンケート集計＜全参加者 64 名中 16 名回収（38.1%）＞

☆ 親の年代 ※登録用紙未提出者 3 名は除く

年代	回答者（男性）	回答者（女性）	全参加者（男性）	全参加者（女性）
30代	0	0	0	1
50代	0	3	1	13
60代	1	7	4	28
70代	0	5	5	9
合計	1	15	10	51

☆ 子どもの年齢 ※無記入は省き、夫妻で記入の分は 1 名でカウント

年齢	性別	ひきこもり年数 (年)	年齢	性別	ひきこもり年数 (年)	年齢	性別	ひきこもり年数 (年)
24歳	男	6年	33歳	男	18年	41歳	男	20年
24歳	男	6年	36歳	男	12年	43歳	男	18年
30歳	男	16年	37歳	男	9年	44歳	男	25年
31歳	男	8年	38歳	男	18年	46歳	男	無記入
31歳	男	無記入	39歳	男	21年			
31歳	無記入	6年	40歳	男	12年			

全 16 名	平均 35.5 歳	男女比 15 : 0	年代別割合 40代 31.3%	30代 56.2%	20代 12.5%
ひきこもり年数 平均約 14 年					

< 1 >参加して

お寺の雰囲気が良い (6) 僧侶の話が聴ける (15) 親同士で話ができる (13)  
 情報や知識が得られる (14) 自分を振り返ることができる (11) 気持ちが安らぐ (9)  
 緊張する (2) 不安になる (0) 疲れる (0) 自分の話をするのが負担 (3)  
 その他 (1) ・とても嬉しく楽しい所、私が許されて行く所

## < 2 > 全体を通しての感想

### ➤ 読経と法話

- ・読経の際、意味の説明があると良い。
- ・心が落ち着く。
- ・次第に慣れてきて楽しく（ありがたく）なってきた。
- ・気持ちが切り替わる。
- ・気持ちが清清しくなる。
- ・普段接することの少ない世界の話聞いてよい。

### ➤ 講演

- ・為になることが多い。
- ・色々な分野の方の話聞くことは、自分の人生に刺激となり、元気になる。
- ・知識や色々な情報が得られる。
- ・興味深く聴いているが、実践に結び付けられない（なかなか本気になれない自分がいる）。
- ・悩んでいる私に情報を与えていただき、心の支えになる。
- ・知らないことが多く、勉強になり、満足している。

### ➤ フリートーク

- ・緊張するが、為になる。
- ・情報が得られる。
- ・一人一人の思いを出したり聞いたりできる場であった。
- ・それぞれ抱えている状況は違うと思うが、話に共感できる。
- ・感じ方、考え方がそれぞれあって、感心する。多くの考え方があり、同じ立場で他では言えないことも安心して聞くことができ、話すことができ、幸せ。

### ➤ 慈悲の瞑想

- ・心が落ち着き、家でも思い出してお祈りしている。
- ・気持ちが安らぎ、毎朝家でも行なっている。
- ・自分の幸せだけでなく、世界中の幸せを願うことは、心がとても穏やかになる。
- ・一番落ち着く時間。
- ・「私が嫌いな人も、私を嫌っている人も幸せでありますように」と誰かから聞いたことがある。この二つも気に入って、早速取り入れている。

< 3 > ふぁみりあ参加を子どもは知っているか

知っている (10)      知らない (3)      わからない (3)  
その他 (0)

① 知っている場合、親が参加していることの反応

良く思っている (7)      良くは思っていない (0)      わからない (3)  
その他 (1) ・「お母さんは楽しい所に行けていいね」と言われる。

② 知っている場合、講演内容などを子どもに話しているか

いつも話している (3)      たまに話す (6)      話していない (4)

③ 知らない場合、なぜ伝えないのか

怒るから (2)      言う必要がないから (0)

その他 (5)      ・自分のことをひきこもりと思われたくないように感じるから。  
・勇気がないため。  
・顔を合わせない。  
・関係ないので。  
・本人の状態から、今言うべきではないと思う。

< 4-1 >参加して、自身の心身の状態に変化がみられたか

A 変化があった → 良くなった (10) 悪くなった (0)

- どのように
- ・仲間ができた。
  - ・元気になり、子どものことがより大切に思えるようになった。
  - ・今の状態が肯定できるようになった。

B 少し変わった気がする → 良くなった (3) 悪くなった (0)

- どのように
- ・気持ちが安定してきた。
  - ・少し客観的になれた。

C 特に変わらない (3)

D わからない (1)

< 4-2 >子どもの心身の状態に変化がみられたか

A 変化があった → 良くなった (5) 悪くなった (0)

- どのように
- ・話すことも多くなった。
  - ・居場所に来て下さる一人一人を大切にしてくれている。
  - ・体力、自信、責任感が良くなった気がする。
  - ・親の接し方は変えていないが、一年前から月に数回外出するようになった。

B 少し変わった気がする → 良くなった (3) 悪くなった (0)

どのように

- ・子どもを受け入れることができる親に変化していることが分かるようで、家庭の中では自然に親子関係を築けるようになった。

C 特に変わらない (2)

D わからない (3)

< 4-3 >親子の関係に変化がみられたか

A 変化があった → 良くなった (4) 悪くなった (0)

- どのように
- ・前向きになった。
  - ・悩みがあると話してくれ、「お母さんに話してよかった」と言ってくれるようになった。

B 少し変わった気がする → 良くなった (2) 悪くなった (0)

C 特に変わらない (5)

D わからない (2)

< 5 > 自身や子どもの将来の展望や心配事など、自由記述

➤ 展望

- ・ 家族以外の人と関われるようになって欲しい。
- ・ 外出ができ、病院や買い物に行けるようになって欲しい。
- ・ 両親とも年老いているので、親が元気なうちに本人に働く意欲を持ってもらいたい（アルバイトでもいいので）

➤ 心配事

- ・ 親がいなくなった後のことが心配。
- ・ 探せば不安はいくらでもあると思うが、心穏やかでいられている。
- ・ 本人が親亡きあと、このままだと貧困になると言っているので心配。
- ・ 子どもの年齢も高いので、将来のことが心配。
- ・ 本人が気持ちよく過ごせるようにするにはどうしたら良いか、とっかかりが見えない。